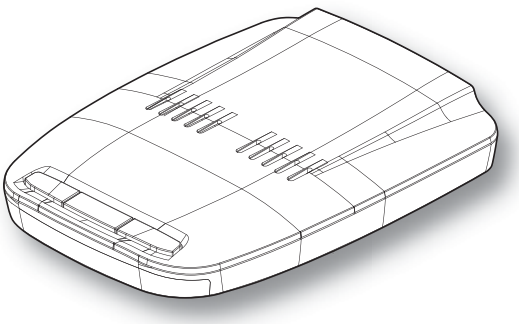
レーダー探知機

ZERO 105L

取付説明書／取扱説明書／保証書



この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本書には取付けおよび操作手順が説明されております。
正しくご使用頂くために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。
なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

・レーダー波と同一の周波数を使用している一部の人感センサー付き自動販売機や自動ドアなどの付近でレーダー警報を行うことがありますが、異常ではありません。
※ 取締機と同一周波数を使用しているため、レーダー警報を行います。
・運転支援システム装着車の場合、取付位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付け前に、必ず車両の取扱説明書をご確認ください。
・一部のレーダー波を使用した安全運転支援装置装着車において、本製品が車両からのレーダー波を受信してレーダー警報を行い続けたり、誤警報と判断して一切レーダー警報を行わない場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品は安全運転と法規走行を促進するためのものです。
スピードの出し過ぎには注意しましょう。

COMTEC

目次

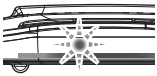
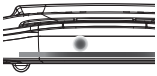
目次 …… 2
はじめに …… 3
安全上のご注意 …… 3
ご使用上のお願い …… 6
知っておきたいこと …… 8
各部の名称 …… 10
梱包内容 …… 10
レーダー本体 …… 10
取付方法 …… 13
レーダー本体を取付ける …… 13
基本操作 …… 16
電源を ON にする …… 16
電源を OFF にする …… 17
microSD カードの抜き差し …… 17
音量を調整する …… 18
オートディマー機能 …… 18
警報時の動作 …… 19
便利な機能 …… 25
ユーザーポイントを登録する …… 25
警報をキャンセルする …… 26
GPS データを更新する …… 31
レーダー本体をアップデートする …… 32
設定操作 …… 34
GPS 設定 …… 34
無線設定 …… 35
レーダー設定 …… 36
設定項目 …… 37
機能設定 …… 37
GPS 警報 …… 43
無線警報 …… 57
OBD Ⅱアダプター（オプション）を使用する …… 63
OBD Ⅱアダプターを使用し、取付ける …… 63
付録 …… 65
取締りの種類と方法 …… 65
初期状態に戻す（オールリセット）…… 69
ディスプレイモード（販売店向け機能）…… 70
故障かな？と思ったら …… 71
製品仕様 …… 72
さくいん …… 73
保証規定 …… 75
ZERO 105L 保証書 …… 裏面

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の２つに区分して説明しています。

⚠ **警告** **この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。**

⚠ **注意** **この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。**

本書で使用している記号について	
	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
	衛星を受信している場合に対応する内容を説明しています。
アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
<u>長押し</u>	スイッチを３秒程度長めに押すことを示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
	LED の点滅を示しています。
	LED の点灯を示しています。

本書の見かた
・本書では、GPS/GLONASS/ みちびき / ひまわり /GAGAN/Galileo を総称して GPS と記載します。 ・各種設定操作は、【設定操作】（⇒ P34）を参照してください。

はじめに

⚠ 警告

運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。

本製品を水につけたり、水をかけたり、また濡れた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。

本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。

穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。

異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。

運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。

エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。

microSD カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

取付けネジの緩み、面ファスナーの剥がれなどないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

🚫	気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
⚠	本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。 ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。 ・湿度が高い所やほこりの多い所。
⚠	microSD カードを本製品に差込む場合、差込方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
⚠	本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。 ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。 ・本体を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
❗	microSD カードを抜く時は、必ず本体電源が OFF になった事を確認してから抜いてください。microSD カードへのアクセス中に抜き差しを行うと、データ破損や本体故障の原因となりますのでご注意ください。
❗	OBD Ⅱアダプターを使用して本製品を取付けする場合、長期間車両を使用しない時は OBD Ⅱアダプターを車両から抜いてください。車両によってはバッテリー上がりの原因になることがあります。
❗	一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。
❗	電源ジャックおよびプラグには向きがあるため、無理に差込むと破損します。向きを確認し、正しい方向で接続してください。

はじめに

ご使用上のお願い

- 本製品の近くに他の GPS 機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- 衛星からの信号を受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が働かないため、GPS 機能による警報、メモリー機能が正常に働きません。（トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中など）
- 本製品の GPS 警報は、予め登録されたオービスや取締ポイントなどの GPS データ（位置情報）とお客様が任意で登録した位置のみ有効です。
- G システムのみでは、自車位置を完全に検出することはできません。走行状況によっては警報できない場合があります。
- 電源を分岐して使用している場合や車のバッテリーが劣化している場合など、電流が足りず電源が不安定になり、本製品の電源が遮断されることがあります。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS・レーダー波などの電波が受信できない場合があります。
- 本製品の受信機能は、製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。
- 一部ナビゲーションシステム、車載用 BS チューナー、CS チューナー、地上デジタルチューナーや衛星放送受信機などの車載電子機器から本製品の受信できる周波数帯と同じ電波が出ている場合、本製品が警報を行うことがあります。
- 取締機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で、本製品がレーダー警報を行うことがありますが誤作動ではありません。予めご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部、車線変更支援システムの一部、人感センサー付き自動販売機の一部）
- 本製品の制限速度データは、調査した時期以降に制限速度が変更されたなどの理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は、必ず実際の交通規制に従い走行してください。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データなどの補償に関しては一切の責任を負いかねます。
- microSD カード内へ本機以外のデータを保存しないでください。データ消失などによる付随的な損害に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSD カードの消耗に起因する故障または損傷については一切の責任を負いかねます。（microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります）
- キーを抜いた状態、または車両電源が OFF 状態でシガープラグに通電している車両は、バッテリー保護のためエンジン停止時は必ずシガープラグコードを抜くか、オプションの ZR-02『OBD Ⅱ対応レーダー探知機用直接配線コード』でイグニッション電源に直接接続してください。

- 本製品にはお買い上げ日から 1 年間の保証がついています。（ただし、ステーやシガープラグコードなどの付属品、面ファスナーなどの消耗品は保証の対象となりません）
- 補修用部品や修理後の性能保証等の事情から修理対応ができない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行なっておりません。
- 本製品は DC12V 車専用です。（DC24V 車へのお取付けはできません）
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※ 本製品を取付けての違法行為（スピード違反など）に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

はじめに

知っておきたいこと

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GLONASS とは

「GLObal'naya NAvigatsionnaya Sputnikovaya Sistema」ロシア宇宙軍の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 準天頂衛星「みちびき」（QZSS）

本製品は、準天頂衛星「みちびき」に対応しています。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

● ひまわりとは

日本の運輸多目的衛星（MTSAT）です。この衛星を利用した静止衛星型衛星航法補強システムからの信号を受信することで、GPS の誤差が補正できます。
また、GPS 同様に測位衛星として使用することで、測位の信頼性が向上します。

● GAGAN とは

「GPS Aided GEO Augmented Navigation」の頭字語で、インドの静止衛星型衛星航法補強システムです。

● Galileo とは

欧州連合（EU）の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GPS レシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ（座標データなど）と比較演算し、接近すると警報を行います。

● 衛星受信までの時間について

本製品は「最速 GPS 測位」機能により、起動後すばやく GPS 衛星を測位する事ができます。ただし以下のような場合、「最速 GPS 測位」は機能しません。
・前回電源 OFF 後 144 時間以上経過した場合。
・前回電源 OFF 後、直線距離で 300km 以上離れた場所で電源を ON にした場合。
・前回電源 OFF した時と、次に電源 ON した時の GPS 衛星の状態が異なる場合。
・内部部品の劣化などにより、衛星の軌道情報が正常に保持できない場合。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● microSD カードについて

microSD カード内に本機以外のデータを入れると、正常に動作しなくなることがあります。

● アイドリングストップ車への取付けについて

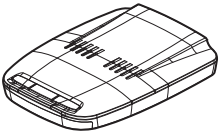
本製品は、供給電圧が 8 ～ 16V の範囲内で動作するため、一部のアイドリングストップ車両のエンジン始動時など車両のバッテリー電圧が低下する場合でも、正常動作する事ができます。

各部の名称

梱包内容

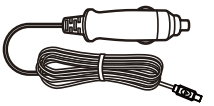
以下の物が揃っているか確認してください。

ZERO105L 本体

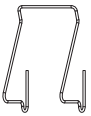


取扱説明書（1 冊）

USB シガープラグコード(1 個)
(約 4m/1A ヒューズ内蔵 /8pin)



サンバイザークリップ
（1 個）



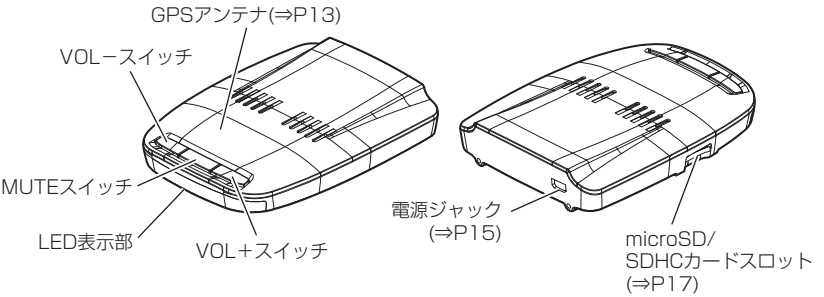
面ファスナー（1 セット）

アドバイス

本製品に microSD カードは付属していません。
GPS データ更新を行う際は、**16GB 以下**の microSD カード、
または microSDHC カードをご用意ください。

[16GB以下]

レーダー本体

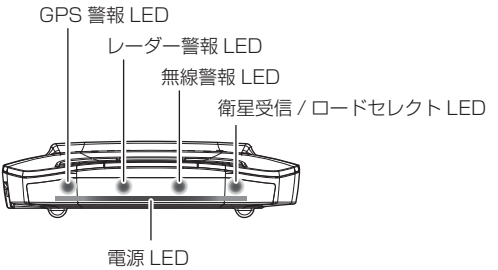


スイッチ操作一覧

項目	スイッチ操作			備考
	VOL −	MUTE	VOL+	
音量アップ	−	−	短押し	
音量ダウン	短押し	−	−	
警報音のミュート	−	短押し	−	警報中のみ有効
ミュート解除		短押し		警報ミュート中のみ有効
走行エリア切替	−	短押し	−	待機中のみ有効
ユーザーポイント登録	長押し	−	−	待機中のみ有効
解除	長押し	−	−	ユーザーポイント警報中に操作
オービスポイントのキャンセル登録	長押し	−	−	オービス警報中に操作
解除	長押し	−	−	キャンセルミュート中に操作
誤警報地点の登録	長押し	−	−	レーダー警報中に操作 ※解除はオールリセットを行う
無線警報のキャンセル登録	長押し	−	−	無線警報中に操作 ※解除はオールリセットを行う
テスト機能	長押し	−	長押し	待機中に同時長押し
終了	音量調整以外の操作			テスト機能中のみ有効
設定モード動作				
GPS 設定モードに入る	−	長押し	−	待機中のみ有効
設定を変更する	−	短押し	−	GPS 設定中のみ有効
無線設定モードに入る	−	−	長押し	待機中のみ有効
設定を変更する	−	−	短押し	無線設定中のみ有効
レーダー設定モードに入る	長押し	長押し	長押し	待機中に同時長押し
設定を変更する	短押し	短押し	短押し	レーダー設定中に同時短押し
設定モードから抜ける	短押し	−	−	各種設定モード中に操作
機能設定				
ASC 設定	−	短押し	短押し	待機中に同時短押し
LSC 設定	短押し	短押し	−	待機中に同時短押し
アラーム設定	短押し	−	短押し	待機中に同時短押し
誤警報検知レベル設定	短押し	短押し	短押し	待機中に同時短押し
お知らせ設定切替	長押し	長押し	−	待機中に同時短押し
誤警報キャンセルエリア設定	−	長押し	長押し	待機中に同時長押し
ディスプレイモード ON	−	●	−	電源 OFF 状態から押しながら電源 ON
ディスプレイモード OFF	−	●	−	ディスプレイモード中に押しながら電源 ON
オールリセット	●	−	●	電源 OFF 状態から押しながら電源 ON

各部の名称

LED 表示内容

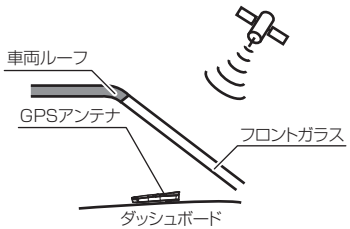


<table>
<tr><th colspan="3">LED</th><th>待機時</th><th>警報時</th><th>設定変更時</th></tr>
<tr><td colspan="3">電源 LED</td><td>青点灯</td><td>青点灯</td><td>青点滅</td></tr>
<tr><td colspan="3">GPS 警報 LED</td><td rowspan="3">消灯</td><td rowspan="3">警報に対応した色で点滅</td><td rowspan="6">設定に対応した色で点灯または点滅</td></tr>
<tr><td colspan="3">レーダー警報 LED</td></tr>
<tr><td colspan="3">無線警報 LED</td></tr>
<tr><td rowspan="5">衛星受信 / ロードセレクト LED</td><td rowspan="2">受信状態</td><td>受信</td><td>点灯</td><td>点灯</td></tr>
<tr><td>未受信</td><td>点滅</td><td>点滅</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ロードセレクト</td><td>CTY</td><td>緑</td><td>緑</td></tr>
<tr><td>ALL</td><td>橙</td><td>橙</td></tr>
<tr><td>HWY</td><td>赤</td><td>赤</td></tr>
</table>

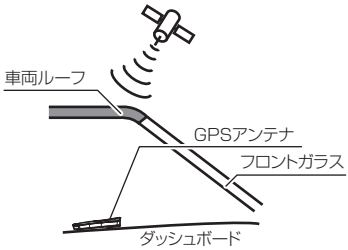
レーダー本体を取付ける

- 車両の機能（エアバッグや運転支援システムなど）に影響のない場所に取付けてください。
- GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

○ 障害物がないので電波の受信ができる



✕ 車両ルーフによって電波が受信できない



⚠ 警告

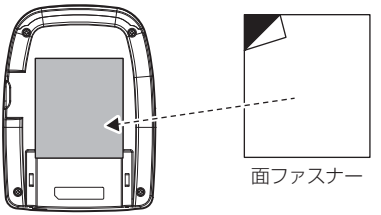
エアバッグの展開場所など、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

⚠ 注意

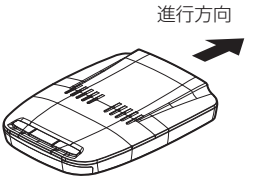
一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付けの前に車両の取扱説明書をご確認ください。

取付方法

1. 本体裏面に面ファスナーを貼付けます。

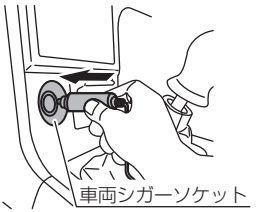


2. レーダー本体後部が車両の進行方向を向くように取付けます。



3. 車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差込みます。

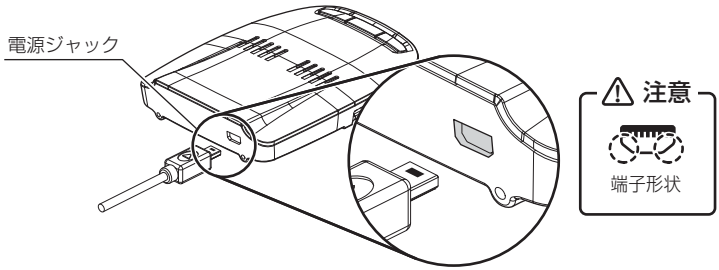
※シガープラグコードを脱着する際は、右記図の通りにプラグ部を持ち、まっすぐ脱着してください。コード部を引っ張ったり回したりすると断線のおそれがあります。



アドバイス

キーを抜いた状態、または車両電源が OFF 状態でシガープラグに通電している車両は、バッテリー保護のためエンジン停止時は必ずシガープラグコードを抜くか、オプションの ZR-02『OBD Ⅱ対応レーダー探知機用直接配線コード』でイグニッション電源に直接接続してください。

4. 本製品にシガープラグコードの向きを確認し接続します。



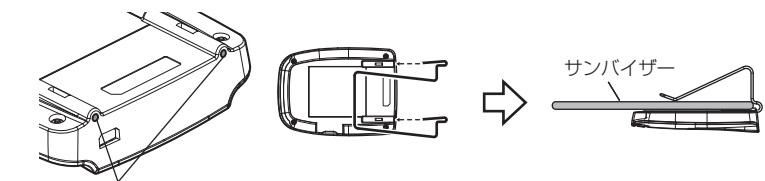
※電源ジャックおよびコネクターには向きがあるため、無理に差し込むと破損します。

⚠ 注意

- **電源ジャックおよびプラグには向きがあるため、無理に差込むと破損します。形状を確認して続してください。**
- **シガープラグコードの配線が引っ張られた状態で配線の取回しを行うと、断線や接触不良により電源が不安定になる可能性があります。配線は余裕を持たせ取回しをしてください。**

サンバイザーに取付ける

本体にサンバイザークリップを取付け、サンバイザーにレーダー本体を取付け固定します。



サンバイザークリップ取付穴

サンバイザークリップを取付穴に差し込む

サンバイザーにレーダー本体を取付け固定する

基本操作

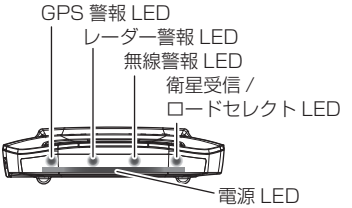
電源を ON にする

1. 車両キースイッチを ACC または ON にします。

OBD Ⅱアダプターを使用している場合は、ACC では電源が入りません。

2. オープニングを確認する。

電源 LED が点灯
↓
電源 LED 以外の LED が左から順に点灯
↓
電源 LED 以外の LED が左から順に消灯
↓
電源 LED 以外の LED が 2 回点滅
↓
全ての LED が点灯



3. 衛星の受信状態を確認します。

※数秒〜数分かかる場合があります。

衛星受信状態	衛星受信 / ロードセレクト LED	受信アナウンス ※お知らせ設定（⇒ P41）を ON に設定時のみ
受信時	点灯	「ピンポン♪ 衛星を受信しました」
未受信時	点滅	「チャララン♪衛星を受信できません」

※ LED 色はロードセレクト（⇒ P37）状態を表示

アドバイス

自車位置検出の補完機能

本製品は走行中に衛星の受信ができなくなった場合、『G システム』によって自車位置の検出を行います。G システム作動時は衛星受信 / ロードセレクト LED が早い点滅を行います。
※ G システムのみでは、自車位置を完全に検出することはできません。

電源を OFF にする

車両キースイッチを OFF にすることで電源を切ることができます。

アドバイス

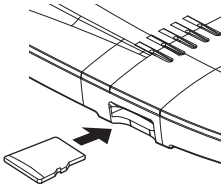
- microSD カードを取り出す際は、必ずレーダー本体の電源が OFF になっていることを確認してください。
- キーを抜いた状態、または車両電源が OFF 状態でシガープラグに通電している車両は、バッテリー保護のためエンジン停止時は必ずシガープラグコードを抜くか、オプションの ZR-02『OBD Ⅱ対応レーダー探知機用直接配線コード』でイグニッション電源に直接接続してください。

microSD カードの抜き差し

⚠ microSD カードを抜き差しする際は、必ずレーダー本体の電源が OFF になっていることを確認してください。

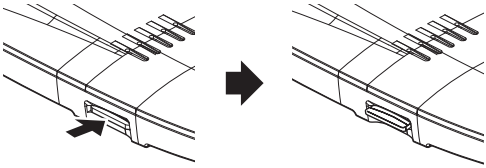
microSD カードを挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで軽く押し込んでください。また、取り出すときは、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜いてください。

●挿入方法



microSDカードの端子部が本体裏面を向くように挿入し、「カチッ」と音が鳴るまで軽く押しこんでください。

●取り出し方法

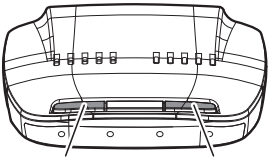


microSDカードを軽く押し込むと、取り出すことができます。

基本操作

音量を調整する

- LED 表示を確認しながら、8 段階（無音含む）の音量調整できます。
- 【VOL －スイッチ】を短押しすることで音量が下がり、【VOL ＋スイッチ】を短押しすることで音量が上がります。
- お買い上げ時は、【4】に設定されています。



テスト機能を使用する

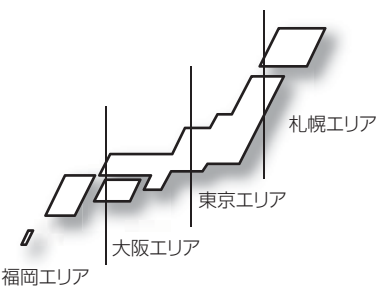
・警報時の音量を確認するための機能です。
・待機中に、本体の【VOL －スイッチ】と【VOL ＋スイッチ】を**同時に長押し**すると、設定した音量で警報音が鳴ります。

オートボリュームダウン機能

本製品は、オービス最接近警報（200m 以下）してから約 10 秒後、またはレーダー受信警報してから約 15 秒後に、警報音の音量を自動的に小さくします。一度警報が解除されると、元の警報音の音量に戻ります。

オートディマー機能

- 時刻によって LED の明るさを自動的に切替えるオートディマー機能を採用しています。
- 時刻を利用して、各エリアを中心とした時季（2 ～ 4 月 /5 ～ 7 月 /8 ～ 10 月 /11 ～ 1 月）の日の出と日の入り時刻の統計を基に、輝度を自動的に切替えます。



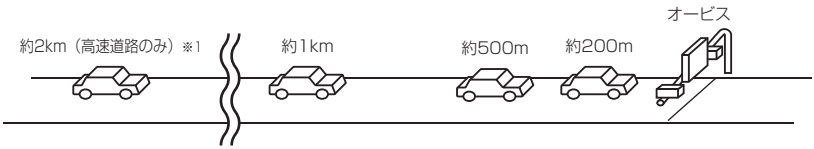
警報時の動作

オービス警報のしかた

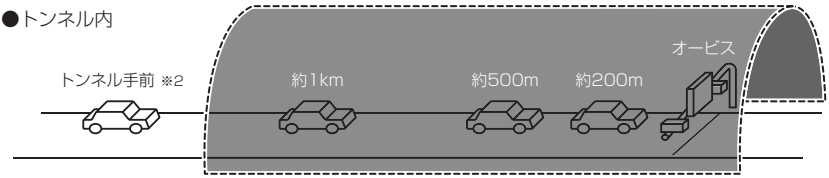
オービスポイントに接近した場合、下記の位置で警報を行います。
※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

■警報を行う距離

●一般道 / 高速道



●トンネル内



●トンネル出口オービス

※ 1 警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさなどによっては実際の走行距離と異なる場合があります。
また、オービスの設置された道路の側道など、警報対象近くの平行する道路を走行中にも警報を行う場合があります。
※ 2 トンネル入口から 1km 以上先にオービスがある場合のみ警報します。

音声アナウンス内容

速度や道路種類などによりアナウンスの内容が変わります。

■オービス / ユーザーポイント警報

	距　離	道路種	カメラ位置	警報対象	速度 / 到達時間 / 制限速度
2km	2キロ先（※ 1）	高速道	—	ループコイル ループコイル式オービスシステム	時速は約（※ 2）キロ、 ・到達時間アナウンス ・制限速度アナウンス（※ 3、※ 5）
1km	1 キロ先	・高速道 ・一般道	—	LH システム H システム レーダー	・走行速度アナウンス ・制限速度アナウンス（※ 4、※ 5）
500m	この先	・高速道 ・一般道	・左側 ・正面 ・右側 （※ 6）	移動式小型オービス ユーザーポイント があります。	—

※ 1. 2 キロは高速道路のみアナウンスします。
※ 2. アナウンスを始めた時の速度を 10km/h 単位（四捨五入）でアナウンスします。
190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。
※ 3. 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が切り替わります。
・到達時間アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合、または制限速度データがない場合は、『到達時間は○○秒以内です』とアナウンスします。
・制限速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合は、『制限速度は○○キロです』とアナウンスします。
※ 4. 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が切り替わります。
・走行速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合、または制限速度データがない場合は、『時速は約（※ 2）キロです』とアナウンスします。
・制限速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合は、『制限速度は○○キロです』とアナウンスします。
※ 5. ユーザーポイント警報の際は制限速度のアナウンスは行いません。
※ 6. ユーザーポイント警報の際はカメラ位置のアナウンスは行いません。

- **到達時間はアナウンス開始時の速度と距離で算出されており、実際の到達時間とは異なる場合があります。あくまで目安とお考えください。**
- **G システム（⇒ P16）作動時は走行速度と到達時間のアナウンスを行いません。**
  ※ただし別売 OBD Ⅱアダプター接続時はアナウンスを行います。

■トンネル内 / トンネル出口オービス警報

※ トンネル出口オービス警報はトンネル手前での警報のみとなります。

	距　離	道路種	場所	カメラ位置	警報対象	速度 / 制限速度
トンネル手前	—	・高速道 ・一般道	・トンネル内 ・トンネル出口	—	ループコイル ループコイル式オービスシステム	・走行速度アナウンス ・制限速度アナウンス（※ 1）
1km	1 キロ先	・高速道 ・一般道	トンネル内	—	LH システム H システム レーダー	・走行速度アナウンス ・制限速度アナウンス（※ 1）（※ 2）
500m	この先	・高速道 ・一般道	トンネル内	・左側 ・正面 ・右側	移動式小型オービス があります。	—

※ 1. 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が切り替わります。

・走行速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合、または制限速度データがない場合は、『時速は約○○キロです』とアナウンスします。走行速度はアナウンスを始めた時の速度を 10km/h 単位（四捨五入）でアナウンスします。190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。

・制限速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合は、『制限速度は○○キロです』とアナウンスします。

※ 2. 走行速度は別売 OBD Ⅱアダプター接続時のみアナウンスを行います。

・G システム（⇒ P16）のみでは、自車位置を完全に検出することができません。そのため走行状況によっては、実際のオービスまでの距離と警報を行う距離が異なったり、警報を行わない場合があります。あらかじめご了承ください。

・一般道のトンネル内オービス警報は、OBD Ⅱアダプター接続時のみトンネル内 1 キロ、500m 手前の警報を行います。

基本操作

レーダー警報のしかた

・レーダー波を受信した場合、ASC 設定（⇒ P38）の受信感度と、取締機までの距離により下記表のように警報を行います。
・ステルス波は、至近距離で非常に強いレーダー波を照射するため、ASC 設定の内容に関わらず警報を行います。
・アラーム音は設定により変更することができます。（⇒ P42）

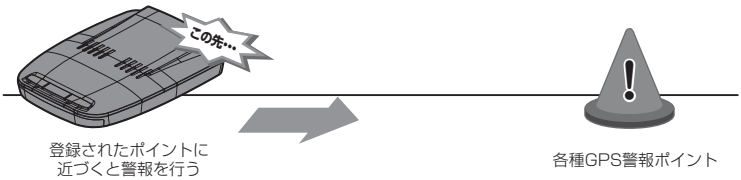
ステルス式の取締りの場合、至近距離でレーダー波を発射するため、受信できないことや警報が間に合わないことがあります。

レーダー式取締機までの距離	遠い（弱い）		近い（強い）
レーダー警報 LED 表示	レーダー警報LED		
レーダー受信レベル	LEVEL1 →		LEVEL4
LED 点滅速度	遅い →		早い
LED 点滅色	橙		赤
アラーム音	受信感度	LOW	アラーム音が鳴らない ※警報表示は行います。
		HI	
		S-HI	アラーム音が鳴る
		HYPER	

※ レーダー警報中でも GPS 警報、無線警報を優先します。

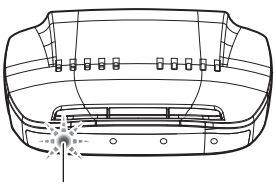
GPS 警報のしかた

・各種GPS警報ポイントに近づくと､LED表示とアナウンスでお知らせします。
・各 GPS 警報のアナウンス内容に関しては P43 ～ 56 をご参照ください。



GPS 警報表示

本製品は GPS 機能を利用し、登録された警報ポイントに近づくと、GPS 警報 LED の表示とアナウンスでお知らせします。



警報種類		GPS 警報 LED 表示	点滅速度
オービス／ユーザーポイント	約 2km 地点	赤点滅	遅い
	約 1km 地点		↓
	約 500m 地点		
	接近	赤点滅	早い
SA/PA/HO ／ハイウェイラジオ受信エリア／道の駅 / 海の駅ポイント／トンネルポイント／県境ポイント／スクールエリア／冠水エリア／ラウンドアバウト		緑点滅	遅い
駐車監視エリア／信号無視取締機ポイント／過積載取締機ポイント／警察署エリア／交番エリア／高速道路交通警察隊エリア／事故ポイント／ヒヤリハット地点／ N システム／急カーブポイント／分岐 / 合流ポイント／逆走お知らせポイント／消防署エリア／ゾーン 30 ／踏切一時停止ポイント		橙点滅	↓
取締ポイント／小型オービス／白バイ警戒エリア／ W オービス／速度監視路線／速度警戒ポイント		赤点滅	早い
取締ポイント回避		緑点滅	遅い点滅

基本操作

無線警報のしかた

・各種無線を受信すると、LED 表示とアナウンスでお知らせします。
・各無線警報のアナウンス内容に関しては P58 ～ 62 をご参照ください。

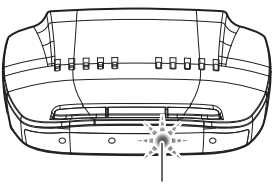
無線を受信すると
警報を行う

各種無線

本製品はおもに取締りに使用されている周波数を中心に受信します。そのため、記載されている周波数帯であっても受信できない周波数があります。

無線警報表示

無線警報 LED の表示とアナウンスでお知らせします。



無線警報LED

警報種類	無線警報 LED 表示	受信レベル	点滅速度
カーロケ／ 350.1 ／デジタル／署活系／ワイド／取締特小／警察活動／警察ヘリテレ	赤点滅	弱い（遠い）※ 1	遅い
		強い（近い・接近）※ 1	早い
パトロールエリア	赤点滅	—	早い
レッカー／高速管理車両／警備／タクシー	緑点滅	—	遅い
新救急／消防ヘリテレ／消防	橙点滅	—	遅い
カーロケ回避	緑点滅	—	遅い

※ 1 カーロケ、デジタル、ワイド無線のみ遠近識別警報を行います。

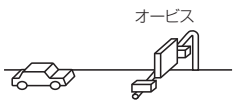
ユーザーポイントを登録する

未登録、または新たに設置されたオービスポイントを任意に 100 件まで登録することができます。

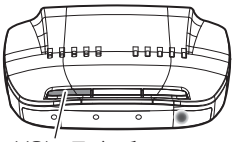
⚠ 警告
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

登録方法

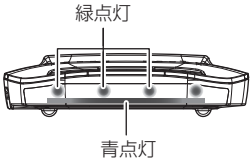
①ポイントを登録したい地点で各種警報をしていないときに



②【VOL －スイッチ】を長押しします。



③「チャラーン♪ ユーザーポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。



登録時の走行エリアの設定	警報条件
オールモード	一般 / 高速道共通のポイントとして登録し、オール / ハイウェイ / シティーモード設定時に警報します。
シティーモード	一般道路上のポイントとして登録し、オール / シティーモード設定時に警報します。
ハイウェイモード	高速道路上のポイントとして登録し、オール / ハイウェイモード設定時に警報します。

解除方法

登録したポイントの警報中に再度上記操作を行うことで、登録が解除されます。

アドバイス

登録ができない場合

下記の場合、ユーザーポイントは登録できません。
・各種警報時
・衛星未受信時
・一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度登録しようとした場合
・ユーザーポイントが 100 件登録済み

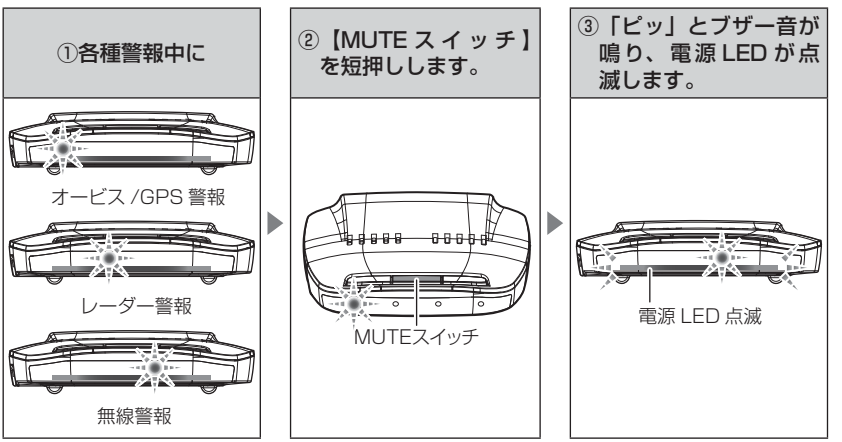
便利な機能

警報をキャンセルする

警報を一時的にキャンセルしたり、不要な警報をキャンセルポイントとして登録することで誤警報を低減し、警報の信頼度を高めることができます。

⚠ 警告
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

一時的にキャンセルする（ミュート）



解除方法

ミュート中に再度上記操作を行うことでミュート状態は解除されます。

アドバイス

- ミュート中は、警報音 / アナウンスによる警報を行いません。
- 下記の場合もミュート状態になります。
  - オービスポイントのキャンセル地点（⇒ P29）
  - ASC 機能が作動中（⇒ P38）
  - LSC 機能が作動中（⇒ P40）
  - 誤警報キャンセルエリア走行中（⇒ P56）

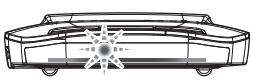
誤警報地点を登録する

・自動ドアなど、レーダー波を受信してしまう場所をキャンセルポイントとして登録することで、半径約 300m 内のレーダー警報を行ないません。
・最大登録件数は 150 件です。

⚠ 警告
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

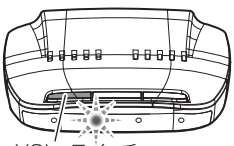
登録方法

①レーダー警報中に



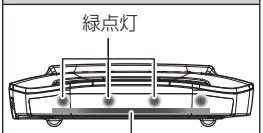
レーダー警報

②【VOL －スイッチ】を長押しします。



VOL－スイッチ

③「チャラーン♪ レーダーキャンセルポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。



解除方法

レーダー本体をオールリセットすることで登録が解除できます。ただし、その他の設定した内容も全てお買い上げ時の状態になります。（⇒ P69）

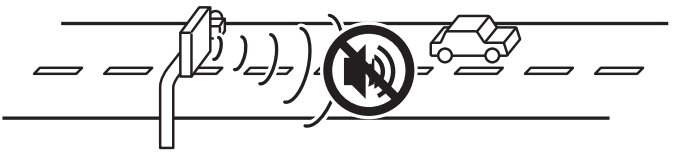
アドバイス

登録ができない場合

下記の場合、キャンセルポイントは登録できません。
・衛星未受信時
・キャンセルポイントを 150 件登録済み

対向車線オービスのレーダー波を自動でキャンセルする

・対向車線のレーダー式オービス、Hシステムのレーダー波を受信した場合、自動で対向車線のオービスと認識し警報を行いません。



アドバイス

キャンセル中はすべてのレーダー警報を行いません。キャンセル中の走行には十分ご注意ください。

オービスポイントをキャンセル登録する

・お買い上げ時から GPS データに登録してあるオービスポイントや N システムポイントをキャンセルポイントとして登録することで、該当ポイントの警報を 1 地点単位で消音します。
・最大登録件数は 30 件です。
・同時にレーダー波もキャンセルされます。

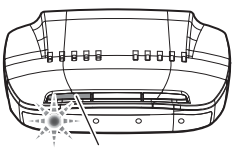
⚠ 警告
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

登録方法

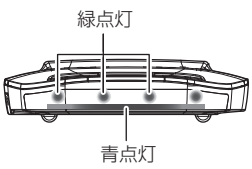
①オービス警報中に

オービス /GPS 警報

②【VOL − スイッチ】を長押しします。



③「チャラーン♪ 警報キャンセルポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。



解除方法

登録地点を走行中（ミュート中）に再度上記操作を行うことで登録が解除されます。

アドバイス

登録ができない場合

下記の場合、キャンセルポイントは登録できません。
・衛星未受信時
・キャンセルポイントを 30 件登録済み

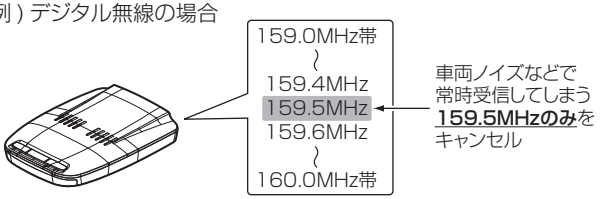
便利な機能

無線警報をキャンセル登録する（パスメモリ）

車両ノイズや一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合に、対象の周波数を登録し、受信対象から外すことができます。

※ カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は設定 (登録) できません。

(例) デジタル無線の場合



※キャンセルした159.5MHz以外の159.0〜159.4MHz、159.6〜160MHzを受信するとキャンセルされずに警報を行います。

※無線設定（⇒ P35）で OFF に設定した警報は、キャンセル登録に関係なく警報しません。

⚠ 警告
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

登録方法

解除方法

レーダー本体をオールリセットすることで登録が解除できます。ただし、その他の設定した内容も全てお買い上げ時の状態になります。（⇒ P69）

アドバイス

登録ができない場合

カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は登録できません。

GPS データを更新する

- 本製品の GPS データ（GPS ポイントデータ）は最新バージョンに更新ができます。
- 弊社調査地点以外にもオービス・N システムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全のため、必ず法定速度内で走行してください。

※ ダウンロードのサイトは、予告なく変更・中止される場合があります。

パソコンからダウンロードする（microSD カードへの書き込み）

◆必要な物

・パソコン（対応 OS：Windows10/8.1/7/Vista/XP/2000）
・市販の microSD カード、または microSDHC カード（16GB 以下）
・microSDHC 対応カードリーダー / ライター

◆更新方法

下記 2 通りの方法でデータの書き込みができます。

方法①ワンクリック DL App を使用する

弊社ホームページ (http://www.e-comtec.co.jp) よりダウンロードできる『ワンクリック DL App』をインストールすることで、カンタンに GPS データをダウンロードし、microSD カードに書き込むことができます。

方法② microSD カードに直接書き込む

『ワンクリック DL App』をインストールできない、または動作しない場合は、弊社ホームページよりデータをダウンロードし、microSD カードにデータを直接書き込んでください。

アドバイス

上記のダウンロードできる環境をお持ちでないお客様は、本製品を直接コムテックサービスセンターまでお送りください。

〒 470-0151
住所　愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字池上 1-1
電話　0561-56-1814
株式会社　コムテック　サービスセンター　データ更新係　迄

・ お預かりでのデータ更新に関しましては**有料**となります。
・ 製品の修理対応が終了している場合は、お預かりでのデータ更新を行う事ができません。あらかじめご了承ください。

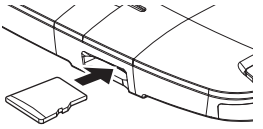
レーダー本体をアップデートする

最新の GPS データをダウンロードした microSD/SDHC カードをレーダー本体に読み込ませることで、GPS データの更新ができます。

⚠ 注意
microSD/SDHC カードを抜き差しする際は、必ずレーダー本体の電源が OFF になっていることを確認してください。

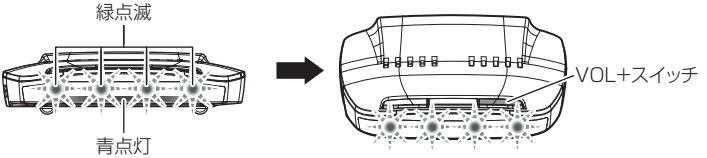
操作方法

1. レーダー本体の microSD/SDHC カードスロットに、microSD/SDHC カードを「カチッ」と音がするまで差し込みます。(⇒ P17)

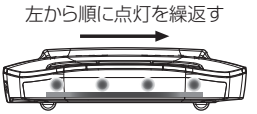


2. レーダー本体の電源を入れます。(⇒ P16)

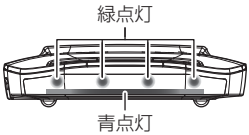
3. 電源 LED 以外の LED が緑点滅したら、【VOL ＋スイッチ】を短押しします。



4. 電源 LED 以外の LED が左から順に緑点灯しデータ更新を開始します。



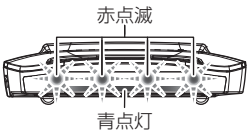
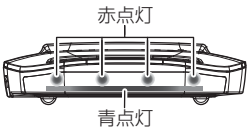
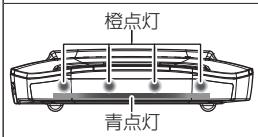
5. 全ての LED が点灯に変わり、自動的に再起動します。



6. レーダー本体が正常に起動したら、データ更新は完了です。

エラー表示一覧

アップデート中にエラー表示がされた場合は、下記対処方法をご確認の上再度手順 1 から操作を行なってください。

LED 表示	エラー内容	対処方法
	アップデートに失敗しました。正常にアップデートされるまで、本製品は再起動後もデータ更新モードから切替わりません。	再起動後、GPS データのアップデートを行なってください。
	microSD/SDHC カード内に正常な更新データが存在していません。	再度、パソコンから GPS データを microSD/SDHC カードにコピーしてください。
	microSD/SDHC カードが挿入されていません。	microSD/SDHC カードの挿入を確認してください。

⚠ 注意

- **microSD カードを抜き差しする際は、必ずレーダー本体の電源を OFF にしてください。**
- **microSD カードを無理に抜き差しすると、microSD カードやレーダー本体が破損することがあります。**
- **microSD カード以外のものを挿入しないでください。レーダー本体が破損することがあります。**
- **アップデート中は、microSD カードを抜いたり、電源を切ったりしないでください。microSD カードやレーダー本体が破損することがあります。ただし、アップデートが開始されなかったり、途中で停止した場合は再起動を行い、再度アップデートを行なってください。**

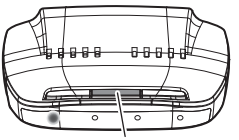
設定操作

GPS 設定

GPS 警報の設定を 3 つのモードから簡単に切替える事ができます。

設定方法

1. 待機中に【MUTE スイッチ】を**長押し**し、GPS 設定モードに入ります。



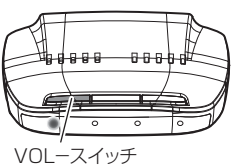
2. 【MUTE スイッチ】を短押しするごとに設定が切替わります。

3. GPS 警報 LED の色で設定を表示します。

・オールオン：緑点灯
・おまかせ 1：橙点灯
・おまかせ 2：赤点灯

4. 【VOL −スイッチ】を短押しして設定を終了します。

何もスイッチを押さないで約 5 秒経過した場合、変更した設定が保存され待機状態に戻ります。



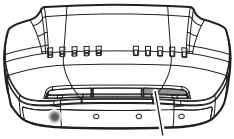
<table>
<tr><th>機能</th><th>おまかせ 1</th><th>おまかせ 2</th><th>オールオン
（初期設定）</th></tr>
<tr><td>W オービス</td><td rowspan="2">OFF</td><td rowspan="2">OFF</td><td>距離：500m</td></tr>
<tr><td>速度監視路線</td><td>距離：3km</td></tr>
<tr><td>取締ポイント／小型オービス／白バイ警戒エリア／
速度警戒ポイント</td><td>ON</td><td rowspan="3">ON</td><td rowspan="8">ON</td></tr>
<tr><td>駐車監視エリア</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>信号無視取締機ポイント／過積載取締機ポイント</td><td>ON</td></tr>
<tr><td>警察署エリア／交番エリア／高速警察隊エリア／
事故ポイント／ヒヤリハット地点／ N システム</td><td rowspan="2">OFF</td><td rowspan="2">OFF</td></tr>
<tr><td>SA/PA/HO ／ハイウェイラジオ受信エリア／
道の駅・海の駅ポイント／
急カーブポイント／トンネルポイント／県境ポイント
分岐・合流ポイント／逆走お知らせポイント／
消防署エリア／スクールエリア／踏切ポイント</td></tr>
<tr><td>ゾーン 30</td><td>ON</td><td>ON</td></tr>
<tr><td>ラウンドアバウト</td><td rowspan="2">OFF</td><td rowspan="2">OFF</td></tr>
<tr><td>冠水エリア</td></tr>
</table>

無線設定

無線警報の設定を 4 つのモードから簡単に切替える事ができます。

設定方法

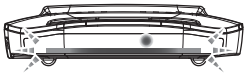
1. 待機中に【VOL ＋スイッチ】を**長押し**し、無線設定モードに入ります。



2. 【VOL ＋スイッチ】を短押しするごとに設定内容を変更することができます。

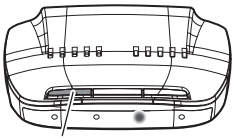
3. 無線警報 LED の色で設定を表示します。

・オールオン：緑点灯
・おまかせ 1：橙点灯
・おまかせ 2：赤点灯
・オールオフ：消灯



4. 【VOL －スイッチ】を短押しして設定を終了します。

何もスイッチを押さないで約 5 秒経過した場合、変更した設定が保存され待機状態に戻ります。



機能	オールオフ	おまかせ 1	おまかせ 2	オールオン（初期設定）
カーロケ	OFF	ON	ON	ON
350.1MHz				
デジタル				
取締特小				
署活系		OFF		
ワイド				
警察 / 消防ヘリテレ			OFF	
レッカー				
新救急				
消防				
高速管理車両				
警察活動				
警備				
タクシー				
パトロールエリア		ON	ON	

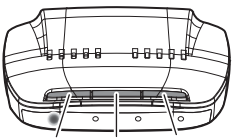
設定操作

レーダー設定

レーダー警報の ON/OFF を切替えることができます。

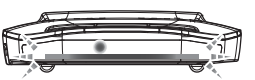
設定方法

1. 待機中に【VOL −スイッチ】、【MUTE スイッチ】【VOL ＋スイッチ】を**同時に長押し**し、レーダー設定モードに入ります。



2. 【VOL − スイッチ】、【MUTE スイッチ】【VOL ＋スイッチ】を同時に短押しするごとに設定が切り替わります。

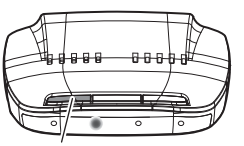
3. レーダー警報 LED の色で設定を表示します。



・ON：緑点灯
・OFF：消灯

4. 【VOL −スイッチ】を短押しして設定を終了します。

何もスイッチを押さないで約 5 秒経過した場合、変更した設定が保存され待機状態に戻ります。



レーダー警報設定を OFF に設定すると、レーダー警報を一切行わなくなります。ご注意ください。

機能設定

ロードセレクト設定

・GPS 警報を行う走行エリアを CTY / HWY / ALL / AUTO から選択することができます。
・お買い上げ時は、【AUTO】に設定されています。
・下記表を参照し、走行条件に合わせた走行エリアの設定を行なってください。

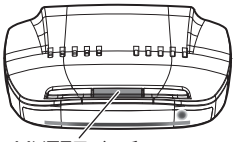
走行エリア		LED 表示	GPS 警報を行う道路
ALL	オール モード	橙点滅 青点滅	一般道路／高速道路
CTY	シティー モード	緑点滅 青点滅	一般道路のみ
HWY	ハイウェイ モード	赤点滅 青点滅	高速道路のみ
AUTO	オート モード	3 色が順に点灯 青点滅	オールモード、シティーモード、 ハイウェイモードを自動で切替える

※ シティーモード設定中、走行速度が 80km/h を超えたり、ハイウェイモード設定中、車が停車状態になると、「モード確認をしてください」とアナウンスします。

オートモードに設定した場合、自車の走行速度と GPS データを基に走行エリアを自動的に切替えるため、下記のような実際の走行道路と設定が異なる場合は GPS 警報を行わないことがあります。
高速道路走行中に渋滞などにより低速走行をしている場合。
・高速道路から速度を落とさずに一般道路に合流する場合。
・一般道路と高速道路が並行している場合。

○設定方法

待機中に【MUTE スイッチ】を短押しするごとに設定が切り替わります。



設定項目

ASC 設定

・レーダー警報を行う受信感度を LOW / HI / S-HI / HYPER のいずれか、または走行速度によって受信感度を自動的に切り替える AUTO から選択することができます。(⇒ P22)
・お買い上げ時は、【AUTO】に設定されています。

アドバイス

ASC 機能とは、オート・センシティブ・コントロールの略称で、【AUTO】に設定すると、低速走行中（渋滞など）は受信感度を下げて警報音をミュート（消音）し、高速走行中はレーダーの受信感度を上げて警報しやすくします。
※警報表示は行います。

● AUTO 設定

AUTO を選択すると、走行する速度によってレーダーの受信感度を自動的に調節します。

車両状態	信号待ち、低速走行時など	走行中
受信感度	LOW	LOW ⇔ HI ⇔ S-HI ⇔ HYPER と車速に応じて受信感度が変化

機能	内容	走行速度	受信感度
ASC 機能 (オート･センシティブ･コントロール)	自車の走行速度に合わせて設定を切替える	30km/h 未満	LOW
		30km/h ～ 60km/h 未満	HI
		60km/h ～ 80km/h 未満	S-HI
		80km/h 以上	HYPER

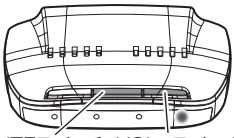
※ OBD Ⅱアダプター未接続で衛星を受信できない場合は、受信感度が [HYPER] に固定されます。

● マニュアル設定

LOW / HI / S-HI / HYPER を選択することで、受信感度を固定することができます。

○設定方法

待機中に【MUTE スイッチ】と【VOL+スイッチ】を同時に短押しするごとに設定が切替わり、設定状態を LED で表示します。



受信感度設定	適切な走行場所	走行状態	LED 表示
AUTO	―	―	3 色を順に点灯 青点滅
LOW	市街地	低速走行	緑点滅 青点滅
HI	郊外地	中速走行	橙点滅 青点滅
S-HI	郊外地・高速道路	中・高速走行	赤点滅 青点滅
HYPER	高速道路	高速走行	赤点灯 青点滅

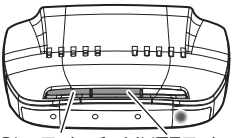
設定項目

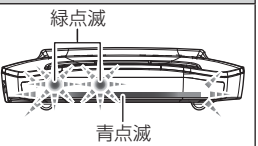
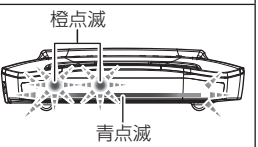
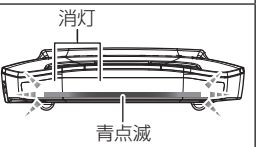
LSC 設定

・LSC 機能とは、ロー・スピード・キャンセルの略称で、渋滞などで低速走行時に警報音を自動的にミュートする機能です。
・お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

○設定方法

待機中に【VOL −スイッチ】と【MUTE スイッチ】を同時に短押しするごとに設定が切替わります。



状態	内容	LED 表示
ON	低速走行時に GPS 警報、レーダー警報の警報音をミュートします。	
ALL-ON	低速走行時に GPS 警報、レーダー警報、および無線警報の警報音をミュートします。	
OFF	走行速度に関係なく警報音を鳴らします。	

○ LSC 機能の動作内容

走行状態	警報
停車中〜 30km/h	しない
30km/h 以上	する
LSC 機能を OFF または OBD Ⅱアダプター未接続で衛星を受信していない時	する

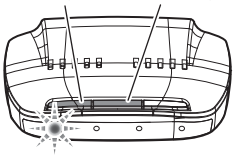
お知らせ設定

・電源 ON 時のあいさつアナウンスや、衛星受信・未受信時のアナウンスなどを行う機能です。
・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

状態			アナウンス内容
衛星受信			衛星を受信しました。
衛星未受信			衛星を受信できません。
起動後、2 時間経過			運転時間が 2 時間になりました。 そろそろ休憩してください。
走行エリアの切替えアナウンス （オートモード設定時）			（ハイウェイ / シティー / オール）モードに切替えます。
あいさつ アナウンス	起動時刻	4:00 ～　9:59	おはようございます。
		10:00 ～ 17:59	こんにちは。
		18:00 ～　3:59	こんばんは。

○設定方法

・待機中に【VOL −スイッチ】と【MUTE スイッチ】を**同時に長押し**するごとに設定が切替わります。
・設定状態を GPS 警報 LED で表示します。
ON：緑点滅
OFF：消灯



時報機能

時報を「チャイム」+「ボイス」で行います。
※設定を OFF にすることはできません

セーフモード

セーフティーウィーク期間中に起動すると、音声アナウンスを行います。
※設定を OFF にすることはできません

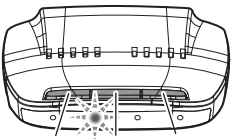
セーフティーウィーク	期間（※）	アナウンス内容
春の交通安全運動期間	4 月 6 日～ 4 月 15 日 ※統一地方選挙のある年は 5 月 11 日～ 5 月 20 日に変更となります。	春の交通安全運動期間です。
秋の交通安全運動期間	9 月 21 日～ 9 月 30 日	秋の交通安全運動期間です。
年末年始取締強化運動期間	12 月 15 日～ 1 月 5 日	年末年始取締強化運動期間です。

※ 交通安全運動期間は原則として上記期間ですが、都合により変更となる場合があります。

設定項目

誤警報検知レベル設定

・レーダー波やステルス波の誤警報が多い場合、誤警報の検知レベルを LOW / HIGH から選択することができます。
※ LOW に設定すると警報が鳴りやすくなり、HIGH に設定すると警報が鳴りにくくなります。
・お買い上げ時は、【LOW】に設定されています。

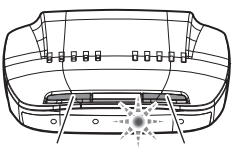


○設定方法

・待機中に【VOL −スイッチ】、【MUTE スイッチ】、【VOL+ スイッチ】を同時に短押しするごとに設定が切替わります。
・設定状態をレーダー警報 LED で表示します。
LOW：緑点滅
HIGH：橙点滅

アラーム設定

・レーダー警報およびオービス接近時の警報音をブザー 1/ ブザー2/ ブザー 3 から選択することができます。
・お買い上げ時は、【ブザー 1】に設定されています。



○設定方法

・待機中に【VOL −スイッチ】と【VOL+ スイッチ】を同時に短押しするごとに設定が切替わります。
・設定状態を無線警報 LED で表示します。
ブザー１：緑点滅
ブザー２：橙点滅
ブザー３：赤点滅

タイヤ空気圧低下お知らせ機能

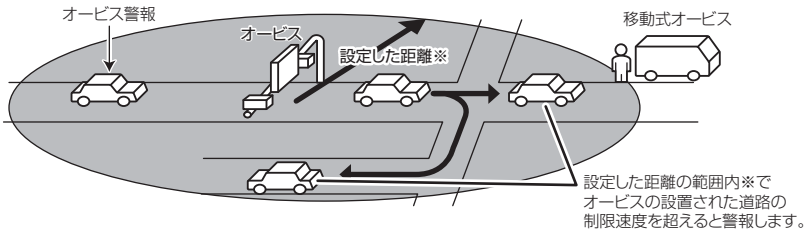
タイヤの空気圧が低下しているおそれがある際にお知らせします。
※設定を OFF にすることはできません

- 別売オプションの OBD Ⅱアダプター（OBD2-R3）と対応車両を接続した時のみ、本機能を使用できます。
- 本機能は、タイヤ４本のうちパンクなどにより１本の空気圧が低下した場合にお知らせする機能のため、空気圧が４本とも均等に低下した場合はお知らせできません。
- タイヤの種類（ランフラットタイヤなど）や扁平率により、１輪の空気圧が低下している場合でも検出できない場合があります。あらかじめご了承ください。

GPS 警報

W オービス

・一般道路上のオービスポイントを通過後、一定範囲内でオービスの設置された道路の制限速度以上で走行するとお知らせします。
・GPS 設定をオールオンに設定するとオービスの半径 500m 以内でお知らせ、おまかせ 1、おまかせ 2 ではお知らせしません。



アナウンス
この先ダブルオービスにご注意ください。

アドバイス

・半径 500m の範囲内で信号などにより停止（5km/h 以下）した場合、再度オービスの設置された道路の制限速度を超えると 3 回まで警報します。
・オービス警報キャンセルポイントに設定されているオービスポイントでは、ダブルオービス警報もキャンセルされます。
・オービス通過後、範囲内であれば車両の進行方向にかかわらず、オービスの設置された道路の制限速度を超えればダブルオービスの警報を行います。

速度監視路線

・オービスが設置された路線であることをオービスポイントの手前であらかじめお知らせします。
・GPS 設定をオールオンに設定すると 3km 手前でお知らせ、おまかせ１、おまかせ２ではお知らせしません。

アナウンス
この先　高速道　速度監視路線です。

※ 走行エリア（⇒ P37）がシティーモード以外の時に有効です。

アドバイス

トンネルや分岐 / 合流により、設定した距離の前後で案内する場合があります。

可搬式 / 半可搬式小型オービス

小型オービスの取締りポイントに接近すると、可搬式小型オービスか半可搬式小型オービスを識別してお知らせします。

状況	距離	アナウンス
一般道	400m	この先　一般道 [可搬式 / 半可搬式] 小型オービスがあります。
高速道	600m	この先　高速道 [可搬式 / 半可搬式] 小型オービスがあります。

取締ポイント

過去に検問や取締りの事例があるポイントが予め本機に登録してあり、取締ポイントに接近すると約 200m ～ 1km の間で注意をお知らせし、ポイントから離れた時に回避をお知らせします。

[速度取締り]..... ネズミ捕りなどの取締りをおもに行なっているポイント
[検問取締り]..... 飲酒 / シートベルト / 携帯電話などの取締りをおもに行なっているポイント
[交通取締り]..... 一時停止無視や信号無視などの取締りをおもに行なっているポイント
[その他取締り]..... 上記以外の取締りを行なっているポイント　※高速道路上の取締ポイントはその他取締りとして警報を行います。
[重点取締り]..... 上記取締ポイントが 2 つ重なっている場合に警報
[最重点取締り]..... 上記取締ポイントが 3 つ以上重なっている場合に警報

状況	アナウンス
速度 / 検問 / 交通	この先　一般道 [速度 / 検問 / 交通] 取締りにご注意ください。
重点 / 最重点	この先　一般道 [重点 / 最重点] 取締ポイントがあります。 ご注意ください。
その他	この先　（高速道 / 一般道）取締りにご注意ください。
回避	[速度 / 検問 / 交通 / 重点 / 最重点]（※ 1） 取締りを回避しました。

※ 1　その他取締り警報時は種別のアナウンスを行いません。

アドバイス

取締ポイントの回避警報は他の警報と重なった場合、他の警報が優先され、回避警報を行わない場合があります。

設定項目

速度警戒ポイント

高速道路の制限速度が切り替わる場所で制限速度をお知らせします。

アナウンス
この先　制限速度は○○ km です。 [速度超過 / 取締] に　ご注意ください。

※ 走行エリア（⇒ P37）がシティーモード以外の時に有効です。

全ての場所で案内を行うわけではありません。

信号無視取締機ポイント

・信号無視取締機が設置されている交差点で、信号を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
・本機に登録されている信号無視取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス
この先　一般道　信号無視取締機にご注意ください。

※ 走行エリア（⇒ P37）がハイウェイモード以外の時に有効です。

過積載取締機ポイント

・過積載取締機が設置されている路線で、車両の積載量を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
・本機に登録されている過積載取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス
この先（高速道／一般道）過積載取締機にご注意ください。

白バイ警戒エリア

本機に登録されている白バイ警戒エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

状況	アナウンス
通常	この先　白バイ取締りにご注意ください。
重点	この付近　白バイ重点警戒エリアです。取締りにご注意ください。

アドバイス

・白バイ重点警戒エリアは白バイ警戒エリア警報を行なったあと、一定の無線を受信した際に警報を行います。
・LSC 機能（⇒ P40）の設定が【ON】で LSC 機能が作動中の場合、白バイ警戒エリアの警報音は LSC 機能によってミュートされますが、白バイ重点警戒エリアの警報は無線による警報のため、ミュートされません。
　※ LSC 機能の設定が【ALL ON】で LSC 作動中の場合は、白バイ警戒エリア、白バイ重点警戒エリアともに警報音がミュートされます。

警察署エリア

本機に登録されている警察署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス
この付近　警察署があります。

※ 走行エリア（⇒ P37）がハイウェイモード以外の時に有効です。

設定項目

交番エリア

本機に登録されている交番付近に接近（約 200m）するとお知らせします。

アナウンス
この付近　交番があります。

※ 走行エリア（⇒ P37）がハイウェイモード以外の時に有効です。

高速道路交通警察隊エリア

本機に登録されている高速道路交通警察隊エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス
この付近　高速道路交通警察隊エリアです。

事故ポイント

本機に登録されている事故多発ポイントに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス
この先（高速道／一般道）事故多発地点です。

ヒヤリハット地点

本機に登録されているヒヤリハット地点に接近（約 1km）するとお知らせします。

アナウンス
この先　高速道　ヒヤリハット地点です。 安全運転を心がけましょう。

※ 走行エリア（⇒ P37）がシティーモード以外の時に有効です。

アドバイス

高速道路上の事故が発生しやすい箇所や、運転に注意すべき箇所をヒヤリハット地点として登録しています。

急カーブ

本機に登録されている急カーブ付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス
この先　高速道（※ 1）急カーブです。

※　走行エリア（⇒ P37）がシティーモード以外の時に有効です。
※ 1　カーブの状況に応じて、右、左、連続のいずれかをアナウンスします。

- **全ての急カーブポイントで警報するわけではありません。**
- **高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。**

トンネルポイント

本機に登録されているトンネル付近に接近（約 1km）するとお知らせします。

アナウンス
この先　高速道（※ 1）トンネルがあります。

※　走行エリア（⇒ P37）がシティーモード以外の時に有効です。
※ 1　トンネルの状況に応じて、長い、連続する のいずれかをアナウンスします。

- **全てのトンネルポイントで警報するわけではありません。**
- **高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。**

逆走お知らせ

全国の高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスで停車した時や、入口から本線に合流しようとすると、お知らせします。

アナウンス
逆走注意　進行方向をご確認ください。

≪出入口が別方向の場合≫

サービスエリアなどで停車後、10km/h 以上でサービスエリアなどの入口に向かって走行（逆走）すると警報を行います。逆走お知らせポイントから離れるまで警報を続けます。

≪出入口が同じ方向の場合≫

サービスエリアなどで停車した時に警報を行います。
その後発進し、10km/h 以上になった場合に、再度警報を行います。

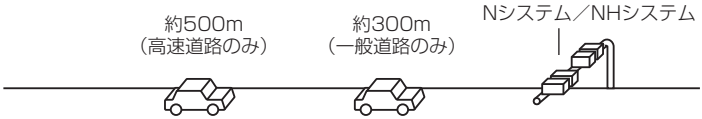
逆走お知らせ警報とオービス警報が重なる場所ではオービス警報が優先されるため、逆走お知らせ警報を行いません。ご注意ください。

※ 走行エリア（⇒ P37）および LSC の設定（⇒ P40）に関わらず、警報を行います。

N システム /NH システム

N システム /NH システムポイントに接近するとお知らせします。

※ 対向車線上の N システム／ NH システムへの警報は行いません。
※ 衛星からの測位信号が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。
※ 本製品は、NH システムを N システムとして警報を行います。



アナウンス
この先（高速道／一般道）N システムがあります。

警報を行う距離は、対象とする N システム／ NH システムからの直線距離です。道路の高低差やカーブの大きさなどによっては、実際の走行距離と異なる場合があります。

ハイウェイラジオ受信エリア

ハイウェイラジオ受信可能エリアに接近するとお知らせします。

アナウンス
この先　高速道　ハイウェイラジオ受信エリアです。

※ 走行エリア（⇒ P37）がシティーモード以外の時に有効です。

設定項目

SA/PA/HO 案内

本機に登録されているサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスに接近（約 2km）するとお知らせします。

状況	アナウンス
SA	この先　高速道　サービスエリアがあります。
PA	この先　高速道　パーキングエリアがあります。
HO	この先　高速道　ハイウェイオアシスがあります。

※ 走行エリア（⇒ P37）がシティーモード以外の時に有効です。

道の駅 / 海の駅案内

本機に登録されている道の駅や、海の駅付近に接近（約 1 km）するとお知らせします。

状況	アナウンス
道の駅	この付近　一般道　道の駅があります。
海の駅	この付近　一般道　海の駅があります。

※ 走行エリア（⇒ P37）がハイウェイモード以外の時に有効です。

県境

県境付近に接近（約 1 km）すると、都道府県をお知らせします。

アナウンス
この先（※ 1）です。

※ 1　都道府県をアナウンスします。

全ての県境で警報するわけではありません。また、山間部やトンネル出口付近など、衛星の受信が不安定な場所では警報しない場合があります。

分岐 / 合流

本機に登録されている分岐合流付近に接近(約500m)すると、お知らせします。

状況	アナウンス
分岐	この先　高速道　分岐があります。
合流	この先　高速道　合流があります。

※ 走行エリア（⇒ P37）がシティーモード以外の時に有効です。

- **全ての分岐合流ポイントで警報するわけではありません。また、SA・PA・HO・インターチェンジからの分岐合流も警報を行いません。**
- **ジャンクションの形状によっては一つの分岐・合流ポイントで複数回警報することがあります。**
- **高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。**

駐車監視エリア

各警察より発表される「最重点地域」、「重点地域」を基に、弊社調査による監視（駐禁）エリアが登録されています。監視エリア付近に接近するとお知らせします。

アナウンス
駐車監視エリアです。

※ 走行エリア（⇒ P37）がハイウェイモード以外の時に有効です。
※ LSC の設定（⇒ P40）に関わらず、警報を行います。

- **全ての駐車監視エリアで警報するわけではありません。**
- **衛星の受信状況により実際の駐車監視エリアと異なる場所で警報することがあります。**

ゾーン 30

各警察より発表されるゾーン 30 が登録されています。ゾーン 30 付近に接近するとお知らせします。

アナウンス
この付近　ゾーン 30 です。安全運転を心がけましょう。

※ 走行エリア（⇒ P37）がハイウェイモード以外の時に有効です。
※ LSC の設定（⇒ P40）に関わらず、警報を行います。

・全てのゾーン 30 で警報するわけではありません。
・衛星の受信状況により実際のゾーン 30 と異なる場所で警報することがあります。

アドバイス

ゾーン 30 とは
生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて時速 30 キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。

スクールエリア

本機に登録されている幼稚園 / 保育園、小学校、中学校、高校付近を 7:00 ～ 9:00、12:00 ～ 18:00 に接近（約 200m）するとお知らせします。
※ 土曜日、日曜日は警報を行いません。

アナウンス
この付近　スクールエリアです。安全運転を心がけましょう。

※ 走行エリア（⇒ P37）がハイウェイモード以外の時に有効です。
※ LSC の設定（⇒ P40）に関わらず、警報を行います。

消防署エリア

本機に登録されている消防署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス
この付近　消防署があります。

※ 走行エリア（⇒ P37）がハイウェイモード以外の時に有効です。

踏切一時停止ポイント

本機に登録されている踏切付近に接近（約 30m）するとお知らせします。

アナウンス
この先　踏切があります。ご注意ください。

※ 走行エリア（⇒ P37）がハイウェイモード以外の時に有効です。
※ LSC の設定（⇒ P40）に関わらず、警報を行います。

冠水エリア

本機に登録されている冠水エリア付近に接近（約 100m）するとお知らせします。

アナウンス
この先　冠水エリアがあります。

※ 走行エリア（⇒ P37）がハイウェイモード以外の時に有効です。

ラウンドアバウト

本機に登録されているラウンドアバウトに接近（約 100m）するとお知らせします。

アナウンス
この付近　ラウンドアバウトがあります。進行方向をご確認ください。

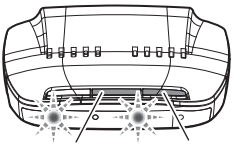
※ 走行エリア（⇒ P37）がハイウェイモード以外の時に有効です。

誤警報キャンセルエリア

・レーダー波の誤警報を行う地点をあらかじめ本機に登録してあり、誤警報キャンセルエリア内でレーダー波を受信した際に、自動的にミュートを行う機能です。
・お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

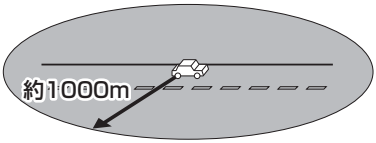
○設定方法

・待機中に【MUTE スイッチ】と【VOL ＋スイッチ】を**同時に長押し**することで ON / OFF を切替えることができます。
・設定状態を GPS 警報 LED と無線警報 LED で表示します。
ON：緑点滅
OFF：消灯

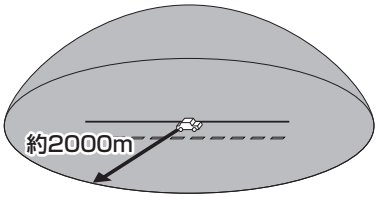


無線警報

下図の受信感度（距離）は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。



カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、警察活動、警備、タクシーの各無線



警察/消防ヘリテレ無線

⚠ 注意

- **放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤作動する場合があります。また、VHF 帯の放送局の近くを通過する場合は、デジタル無線の受信をすることがあります。**
- **使用状況、走行状態、製品取付位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。**

設定項目

カーロケ無線（カー・ロケーター・システム）

緊急車両に装備されたGPS受信機より算出された位置データを、各本部の車両管理センターへ定期的に送信する無線です。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

状況	アナウンス
遠い	カーロケ無線を受信しました。
近い	カーロケ無線を受信しました。緊急車両にご注意ください。
接近	カーロケ無線を受信しました。接近する緊急車両にご注意ください。
回避	カーロケ無線を回避しました。

⚠ 注意

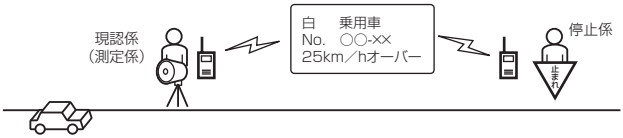
- カー・ロケーター・システムは間欠で送信されるため、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- 緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化するため、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- 緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わないため、本製品での受信はできません。

※ カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケーター無線を受信できません。

※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在受信できる地域であっても、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承願います。また、新システムが導入された地域ではカーロケーター無線の警報ができません。

350.1MHz 無線（取締用連絡無線）

取締用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締りなどで使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。



アナウンス
350.1 無線を受信しました。

デジタル無線

各警察本部と移動局（緊急車両など）とが行う無線交信で、159MHz 帯～160MHz 帯の電波を受信します。

状況	アナウンス
遠い	デジタル無線を受信しました。
近い	デジタル無線を受信しました。緊急車両にご注意ください。
接近	デジタル無線を受信しました。接近する緊急車両にご注意ください。

署活系無線

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信の電波を受信します。

アナウンス
署活系無線を受信しました。

設定項目

ワイド無線

警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）ともいいます。

状況	アナウンス
遠い	ワイド無線を受信しました。
近い	ワイド無線を受信しました。緊急車両にご注意ください。
接近	ワイド無線を受信しました。接近する緊急車両にご注意ください。

取締特小無線

シートベルト、一旦停止など取締現場では通常 350.1MHz 無線を使用しますが、取締りの連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

アナウンス
取締特小無線を受信しました。

警察活動無線

機動隊が主に災害や行事に使用する無線です。

アナウンス
警察活動無線を受信しました。

パトロールエリア

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

アナウンス
パトロールエリアです。ご注意ください。

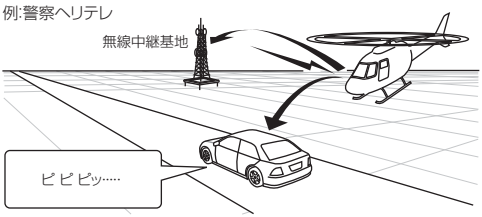
アドバイス

- 受信感度の調整はありません。350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、警察ヘリテレ、警察活動無線の内 2 つ以上の設定が ON になっていないと、パトロールエリア警報は行いません。
- 必ず検問、取締りなどを行なっているとは限りません。

警察／消防ヘリテレ無線

・警察ヘリテレは主に事件・事故などの情報収集、取締りなどの時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。
・消防ヘリテレは火事などの事故処理や連絡用として使われています。

例:警察ヘリテレ



※一部地域又は、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていないため、本製品では受信できないことがあります。
※ヘリテレ無線は、ヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
※送信電波の中継基地周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。(警察ヘリテレのみ)

受信種類	アナウンス
警察ヘリテレ	警察ヘリテレ無線を受信しました。
消防ヘリテレ	消防ヘリテレ無線を受信しました。

新救急無線

救急車と消防本部の連絡用無線として使用しています。主に首都圏で使用されています。

アナウンス
新救急無線を受信しました。

消防無線

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。

アナウンス
消防無線を受信しました。

設定項目

レッカー無線

東名、名神の一部高速道路や一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線を使用しています。

※ 一般の業務用無線と同じ周波数のため、地域によっては一般業務無線を受信することもあります。

アナウンス
レッカー無線を受信しました。

高速管理車両無線

東日本、中日本、西日本の高速道路株式会社が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用します。

アナウンス
高速管理車両無線を受信しました。

警備無線

各地の警備会社が使用する無線です。

アナウンス
警備無線を受信しました。

タクシー無線

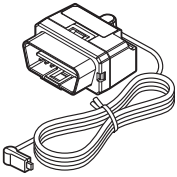
各地のタクシー会社が使用する無線です。

アナウンス
タクシー無線を受信しました。

OBD Ⅱアダプターを使用し、取付ける

別売オプションの「OBD Ⅱアダプター」を使用することで、トンネル内などの衛星からの信号を受信できないような場所でも OBD Ⅱからの速度情報により、正確な警報を行うことができるようになります。

OBD Ⅱアダプター



OBD Ⅱアダプターを接続する際は、ディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は OBD Ⅱアダプターの取扱説明書をご確認ください。
また、『対応車両』および『車種別のディップスイッチの設定内容』は OBD Ⅱアダプター適合表をご確認ください。

● OBD Ⅱとは

On-Board Diagnostics Ⅱの略称で、車載式故障診断システムのことを言います。車両のコネクターより車両のエラーコード（本製品では表示を行いません）の他、車速や回転数等の情報を車両のセンサーから得ることができます。

● OBD Ⅱアダプターの種類

本製品は、OBD2-R1/OBD2-R2/OBD2-R3 のどれも使用することができます。

⚠ 注意

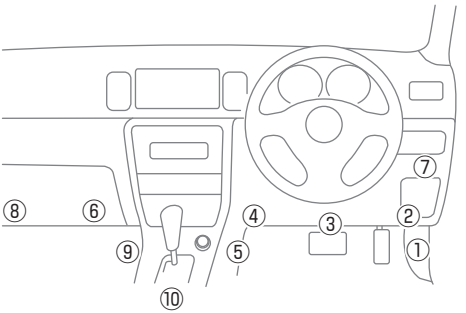
- **OBD Ⅱアダプターは適合する車両のみ接続できます。詳しくは弊社ホームページの OBD Ⅱアダプター適合表をご確認ください。**
- **適合車両の場合でも、各種警告灯が点灯する場合や、装着している電装品によってはレーダー本体または車両機能が正常に動作しない場合があります。（車両 OBD に接続する他の電装品、一部ディーラーオプションのセキュリティシステムなど）**
- **弊社対応製品のみ接続することができます。その他の製品に接続して発生した製品の故障、破損などに関しては一切責任を負いません。**

アドバイス

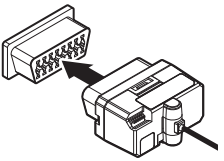
- 車両により、イグニッション OFF 後に再度本製品の電源が ON になる場合がありますが、異常ではありません。しばらくすると電源は OFF になります。
- 初めて OBD Ⅱアダプターの接続を行なった際、車両によっては本製品が起動するまでに数秒～数分かかる場合があります。
- ACC ON ではレーダーの電源は入りません。

OBD Ⅱアダプター（オプション）を使用する

車両 OBD Ⅱコネクター位置



番号	場所
①	アクセルペダル脇
②	運転席足元右側
③	運転席足元中央
④	運転席足元左側
⑤	センターコンソール右側
⑥	助手席足元右側
⑦	ステアリング右脇パネル裏側
⑧	助手席足元左側
⑨	センターコンソール左側
⑩	センターコンソール下



上記①～⑩の位置で車両 OBD Ⅱコネクターを探して接続を行なってください。
車両によってはカバーが付いていたり、コンソール内に存在する場合があります。

⚠ 警告

- アクセルやブレーキなどのペダル操作や、ハンドル操作などの運転操作の妨げになるような配線は行わないでください。事故や怪我の原因となります。
- ドアや車両金属部などに挟み込まないように配線を行なってください。故障や火災の原因となります。

⚠ 注意

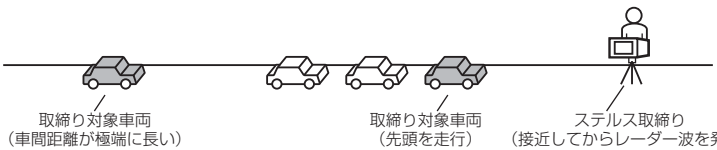
- OBD Ⅱアダプターを接続する際は、必ずキーを抜いた状態、または車両電源が OFF の状態で行なってください。故障の原因となります。
- 車両 OBD Ⅱコネクターにカバーが付いている場合、OBD Ⅱアダプターを取付けることにより、カバーが閉まらなくなることがあります。

取締りの種類と方法

レーダー式の取締り

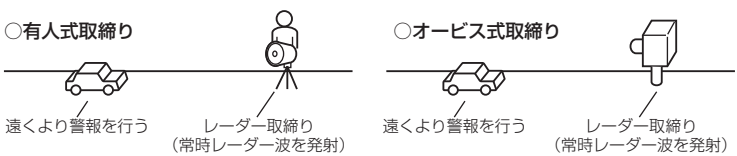
● ステルス式取締方法（有人式取締り）

取締り対象の車が取締機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合などに測定されるケースが多く、100m 以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。



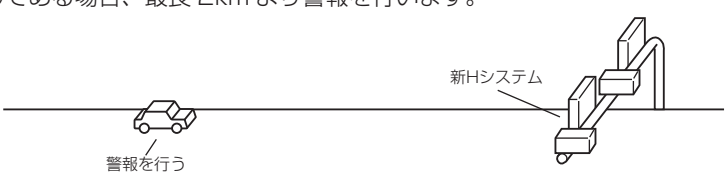
● レーダー式取締方法
（有人式取締り／オービス式取締り／移動式小型オービス）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。
また、オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も 500m 以上の距離から受信することができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



● 新 H システム式取締方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。
レーダー波も 500m 前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



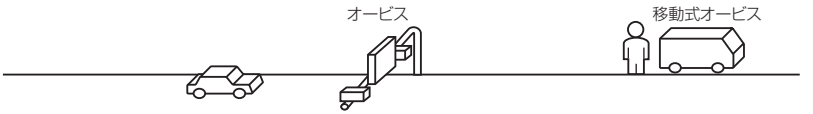
● **移動オービス式／パトカー車載式取締方法**

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m 以上の距離から受信することができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

● **ダブルオービス式取締方法**

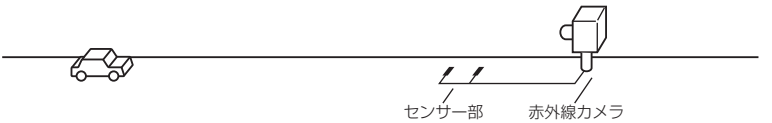
固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。



レーダー式以外の取締り

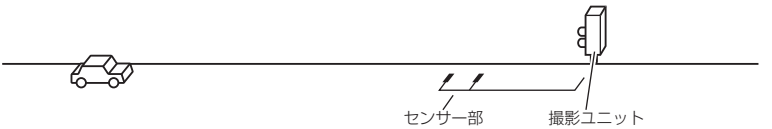
● **ループコイル式取締方法（オービス式取締り）**

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯などに埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



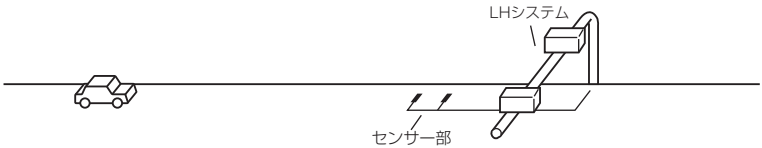
● **ループコイル式オービスシステム**

速度計測部はループコイル式と同様で、撮影ユニットをデジタル化し、通信機能を搭載した取締機です。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



● LH システム式取締方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影が H システム方式の取締機です。本製品では位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。

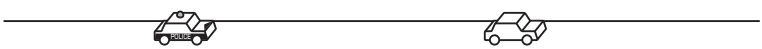


● 光電管式取締方法（有人式取締り）

2 点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。

● 追尾式取締方法

パトカー・覆面パトカー・白バイなどが、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。

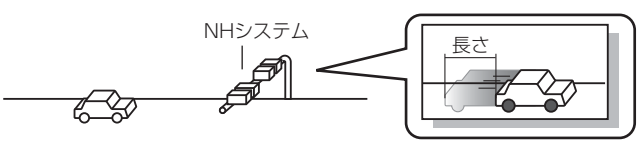


アドバイス

光電管式取締方法（有人式取締り）および追尾式取締方法はレーダー波を発射しないタイプの取締方法のため本製品では探知できません。（光電管式取締方法に関しては本製品の取締ポイントに登録されている地点（⇒ P45）であれば GPS 警報を行います）

● NH システム式取締方法

通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。

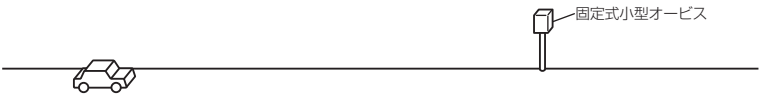


● **小型オービス式取締方法（オービス式取締り）**

生活道路やゾーン 30 に指定された場所など、従来設置できなかったような狭い場所へも設置を可能にした取締機です。取締機が 3 種類あり、本製品では種類に応じた警報を行います。

■固定式小型オービス

支柱を地中に埋め込むタイプの小型オービス。本製品では位置データが登録してある場合、オービス警報として警報を行います。



■半可搬式小型オービス

車両で運搬できるタイプの小型オービス。本製品では位置データが登録してある場合、半可搬式小型オービスとして警報を行います。

■可搬式小型オービス

一人で持ち運びできるタイプの小型オービス。本製品では位置データが登録してある場合、可搬式小型オービスとして警報を行います。

初期状態に戻す（オールリセット）

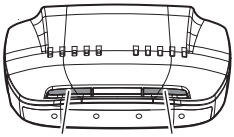
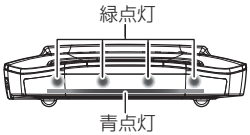
登録したすべてのデータをリセット (初期化) し、お買い上げ時の状態に戻します。
※ 更新した GPS データは初期化されません。

アドバイス

・消去したデータの復元はできません。
・お買い上げ時にあらかじめ登録してあるデータは消去できません。

リセット方法

レーダー本体の電源が OFF の状態で、【VOL −スイッチ】と【VOL ＋スイッチ】を押しながら、電源を ON にしてください。

①【VOL −スイッチ】と【VOL ＋スイッチ】を押しながら	②	②車両の電源を ACC または ON にします。	③	③「オールリセットしました」のアナウンスと LED が下記状態で点灯すればリセット完了です。
	▶		▶	

ディスプレイモード（販売店向け機能）

レーダー本体の一連の動きをデモンストレーションします。本製品を店頭ディスプレイとして使用する場合に、設定してください。

設定方法

レーダー本体の電源が OFF の状態で、【MUTE スイッチ】を押しながら、電源を ON にしてください。

解除方法

再度【MUTE スイッチ】を押しながら電源を ON にすると、ディスプレイモードは終了します。

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症　状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●シガープラグコードが抜けかかっていませんか？ ●車両シガーソケットを分岐していませんか？	14 ページ 6 ページ
衛星を受信しない	●フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？ ●レーダー本体は正しく取付けられていますか？ ●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？	6 ページ 13 ページ 13 ページ
警報をしない	●音量は正しく設定してありますか？ ●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？ ● LSC 機能が作動していませんか？	18 ページ 37 ページ 40 ページ
GPS 警報をしない場合	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？ ●反対（対向）車線上のオービスではありませんか？ ●オービス・N システム以外のカメラではありませんか？ ●各 GPS 警報の設定は OFF になっていませんか？ ●新たに設置されたオービス・N システムではありませんか？ ●誤って警報キャンセルを設定していませんか？ ●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？	13 ページ 19 ページ 51 ページ 34 ページ 31 ページ 29 ページ 37 ページ
レーダー警報をしない場合	●レーダー式以外の取締りではありませんか？ ●誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？ ●レーダー受信感度は適正ですか？ ●特定の場所でミュートがかかる場合は、誤警報キャンセルエリアとして登録されている場所の場合があります。	66,67 ページ 27 ページ 38 ページ 56 ページ
無線警報しない場合	●各無線の設定は ON になっていますか？	35 ページ
ユーザーポイント、レーダーキャンセルポイント、警報キャンセルポイントの登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？ ●各機能の登録可能件数の上限を超えて登録しようとしていませんか？	13 ページ 25,27,29 ページ

OBD Ⅱアダプター接続時

症　状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●車両 OBD Ⅱコネクターに確実に接続されていますか？ ●ディップスイッチの設定が車両ごとの設定内容と合っていますか？	64 ページ 63 ページ
突然本製品の電源が OFF になった	● OBD Ⅱアダプターのコネクターが外れていませんか？車両の振動によってコネクターが緩むことがあります。	—

製品仕様

レーダー本体

電源電圧	DC12V 専用
動作電圧範囲	DC8V ～ 16V
最大消費電流	200mA 以下
受信方式	パラレル 33ch ダブルスーパーヘテロダイン
測位更新時間	最短 0.5 秒
検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式
動作温度範囲	-10℃～ 60℃
本体サイズ	63.5（W）X14.3（H）X86（D）／ mm　突起部除く
重量	54g
対応 SD カード	microSD カード /microSDHC カード 1GB ～ 16GB

受信周波数

- GPS 受信部（1575.42MHz、1598.0625 ～ 1605.375MHz 帯）
- X バンド（10.525GHz）
- K バンド（24.100GHz）
- 取締用連絡無線（350.1MHz 帯）
- カー･ロケーター･システム（407MHz 帯）
- デジタル無線（159 ～ 160MHz 帯）
- 署活系無線（347MHz 帯、361MHz 帯）
- ワイド無線（336 ～ 338MHz 帯）
- 警察ヘリテレ無線（340 ～ 372MHz 帯）
- 消防ヘリテレ無線（382 ～ 383MHz 帯）
- 取締特小無線（422MHz 帯）
- レッカー無線（154MHz 帯、465 ～ 468MHz 帯）
- 新救急無線（371MHz 帯）
- 消防無線（150MHz 帯、466MHz 帯）
- 高速管理車両無線（383MHz 帯）
- 警察活動無線（162MHz 帯）
- 警備無線（468MHz 帯）
- タクシー無線（458 ～ 459MHz 帯、467MHz 帯）

※ 本製品はおもに取締りに使用されている周波数を中心に受信します。そのため、記載されている周波数帯であっても受信できない周波数があります。

※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

取扱説明書はホームページ上でも公開しています。
http://www.e-comtec.co.jp/

さくいん

A
ASC 機能 …… 38
GAGAN …… 8
Galileo …… 8
GLONASS …… 8
GPS …… 8
GPS データ …… 31 ～ 33
G システム …… 16
LSC 機能 …… 40
microSDHC カード …… 17
OBD Ⅱアダプター …… 63
QZSS …… 8
SA/PA/HO 案内 …… 52
ZR-02 …… 7, 14, 17

あ
移動式小型オービス …… 65
海の駅 …… 52
オートディマー機能 …… 18
オートボリュームダウン機能 …… 18
オービス警報 …… 19
オールリセット …… 69
音量調整 …… 18

か
可搬式 / 半可搬式小型オービス …… 44
冠水エリア …… 55
警報音 …… 42
警報キャンセルポイント …… 29
交通安全運動期間 …… 41
小型オービス式取締方法 …… 68
誤警報キャンセルエリア …… 56

さ
準天頂衛星「みちびき」 …… 8
ステルス式取締 …… 65
ステルス波 …… 22
走行エリア …… 37
ゾーン 30 …… 54
速度監視路線 …… 44
速度警戒ポイント …… 46

た
対向車線オービスキャンセル …… 28
タイヤ空気圧低下お知らせ機能 …… 42
ダブルオービス式取締 …… 66
ディスプレイモード …… 70
データ更新 …… 31 ～ 33
テスト機能 …… 18

は
パスメモリ …… 30
ひまわり …… 8
ヒヤリハット地点 …… 48

ま
モード確認 …… 37

や
ユーザーポイント …… 25
ユーザーポイント警報 …… 20

ら
ラウンドアバウト …… 55
ループコイル式オービスシステム …… 66
レーダー警報 …… 22
レーダーキャンセルポイント …… 27
ロードセレクト …… 37